

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社グループの第76期(2025年3月期)中間連結決算におきましては、後述の財務ハイライトに記載の通り増収増益という結果となりました。当社グループが属する業界においては、紙媒体の電子化や制作の見直し等による経費削減傾向が引き続き強くあり、印刷用紙の値上げを機にその傾向がさらに加速しております。当社においては、印刷用紙やインキの値上げをはじめとする原材料価格や、エネルギー価格の高止まりにより、製造原価が引き続き上昇傾向にあります。そのような環境に対応するため、価格改定による利益率の改善を引き続き推進していくとともに、事業ポートフォリオにおいて新たな利益率の高い事業分野へのシフトを進めていきます。

今期より、人への投資を強化しており、社員の待遇改善や職場環境の改善等を進めています。当社で働きたいという思いを強くできるような人的資本経営を強化することで、当社の成長・発展を目指していきます。また、長く働ける職場環境づくりにも力を入れており、年齢を重ねても続けることができる仕事にしていく取り組みを進めています。

下期よりBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業への新たな投資をスタートさせていきます。バリューチェーンの強化を目指し、利益率を向上させる取り組みの大きな柱として、既存の印刷事業の工程との親和性が高いBPO事業については更なる領域拡大を目指していきます。

我々の重要経営課題である環境配慮型経営を推進するためにも、新たな投資を通して顧客のサプライチェーンの責任ある一員として提供する環境配慮型ソリューションの幅を更に広げていきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

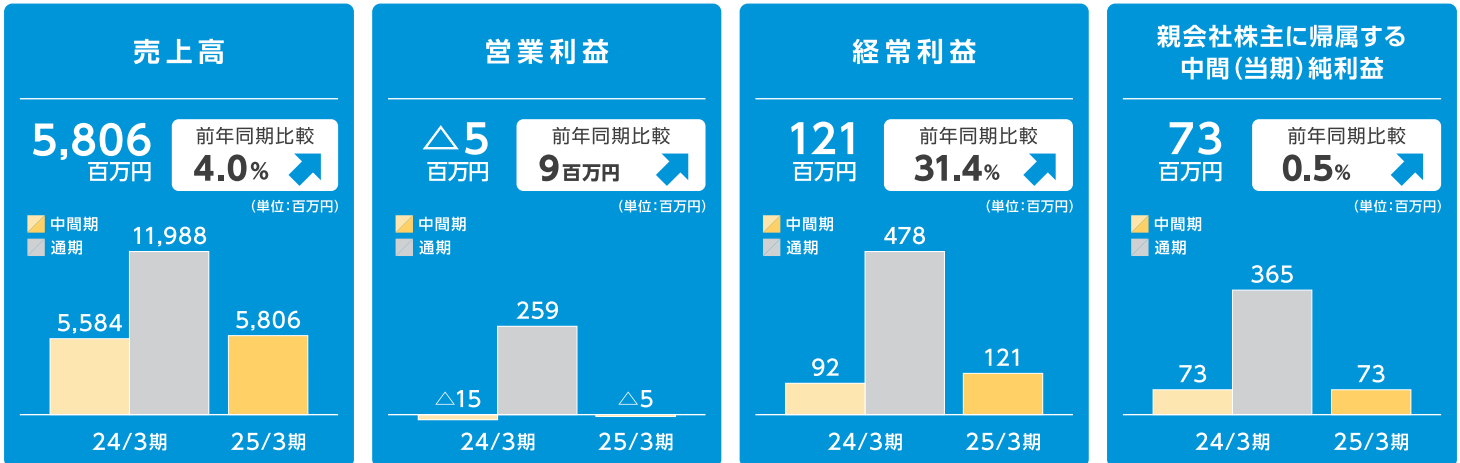


代表取締役社長  
関 宏孝

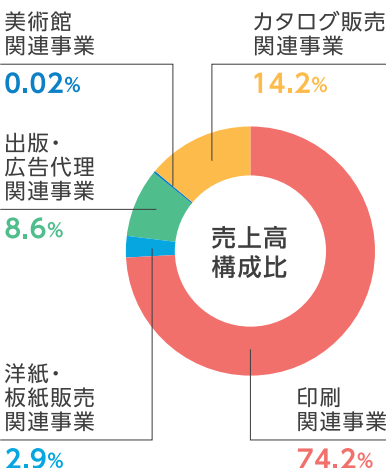
中間配当金  
12 円

1株当たり  
中間純利益  
17円71銭

## 財務ハイライト(連結決算)



## セグメント別の概況



**印刷関連事業** 紙からデジタル化への流れが続き商業印刷物受注が落ち込む中、経済活動を支援する各種委託事業の事務局運営などのBPO事業の推進や、デジタルマーケティング分野の強化、水性フレキソ印刷事業の伸張などにより、増収増益。

▶ 売上高 43億1千万円(前年同期比4.6%増)

▶ 営業利益 1千4百万円(前年同期は2千5百万円の営業損失)

**洋紙・板紙販売関連事業** 洋紙・板紙市場が縮小傾向にある状況の中、値上げによる用紙需要の落ち込みもあり、減収。

▶ 売上高 1億6千9百万円(前年同期比16.9%減)

▶ 営業損失 1千5百万円(前年同期は1千万円の営業損失)

**出版・広告代理関連事業** 店舗型の不動産仲介サービスが好調に推移したことやふるさと納税関連事業が順調であったことなどにより、増収。

▶ 売上高 5億2百万円(前年同期比2.9%増)

▶ 営業損失 2千4百万円(前年同期は2百万円の営業損失)

**美術館関連事業** セキ美術館では、円安を背景としたインバウンド観光で道後温泉地区を訪れる観光客が増加。

▶ 売上高 1百万円(前年同期比2.8%増)

▶ 営業損失 8百万円(前年同期は1千万円の営業損失)

**カタログ販売関連事業** 通信カタログ物販事業の中のサプライヤー事業において、プライベートブランド商品の販売が好調に推移しているものの、原価率が上昇したことなどにより、増収減益。

▶ 売上高 8億2千2百万円(前年同期比6.7%増)

▶ 営業利益 2千9百万円(前年同期比13.2%減)

